



千地申16号

「新型コロナウイルス感染拡大を防止し、安全で安心して業務ができる環境をつくり出す」 ための緊急申し入れに関する団体交渉を行う！ その①



1. 社員の発意によって車内消毒を行うことになった経緯を明らかにするとともに、責任の所在を明確にして、事故やトラブルを発生させないための事前説明を確実にすること。
また、希望できない社員を無理に従事させず、評価などの差別感が生れないように実施すること。

【会社回答】お客さまに安心して鉄道をご利用いただくために、
新型コロナウイルス感染拡大防止に向けた取組みを行っているところである。

○ 車内消毒を行うことの目的・基本的な考え方について

- (組合) 社内の消毒をする目的を明らかにすること。
- (会社) お客様に安心していただき現在鉄道のご利用が落ち込んでいる中で、コロナ禍が収束した後に当社のご利用を促進すること、ウイルスを除去し、安全な車内を提供することが目的である。
- (組合) 安心を感じてもらうのは大切だ。しかし、感染しない・させないことが前提であるべき。感染のリスクは避けなければならない。
- (会社) 通常業務を行っていても感染リスクはある。リスク回避のためにマスクや手袋をつけ3密にならないような環境で消毒作業をしている。
- (組合) 社員の発意ということであるが、会社の予算を使い業務として行っている。
- (会社) 業務に対する責任の所在は、通常業務と同じように現場長にあり、現場の指揮命令系統に従って業務を行っている。 労災発生時等の責任の所在も現場長にある。しかし、支社も内容は把握しているし、サポートも行う。支社が通達を出して仕切ると現場がやりづらくなる。あくまで現場判断で、できる人数で、できる範囲で柔軟に取り組んでいる。
- (組合) 業務指示等出して、実施しているのか。例えば、高齢の家族と同居しているなど、リスクの高い業務には従事できない社員もいる。
- (会社) 希望した社員で実施するのが基本である。 管理者、内勤のみで実施している職場もある。管理者や内勤でも、担当業務が張っていたり、家庭の状況等で無理に消毒に行かせるようなことはしていない。
- (組合) 現場では様々な意見が出ている。具体的な作業の内容も分からなくて、不安を感じている人もいれば、作業内容が分かれば、作業を希望するという人もいる。スピード感も大切だが、始める前に、詳細な説明が必要であるべきだ。
- (会社) 説明は、職場に掲示しているので、読んでもらいたい。また、作業前には作業の内容について、必ず説明している。

○ 走行中の列車での消毒について

- (組合) 走行中の消毒はリスクが高いため、行わないこと。
- (会社) 折り返し場面での消毒に限定した場合とどちらが高リスクかを判断するのは、明確な根拠もないので、難しい。 千葉運輸区で走行中の列車で実施しているが、実際のところ、内房線の下りは、木更津に近くなれば社内の混雑が解消されてきて上りは木更津発車時が最も空いている状況であることから、空いている車内で消毒を行うこととした。
- (組合) 密を避けるために、空いている列車で行うのであれば、千葉駅東部電留線の留置車で行う方が良いではないか。
- (会社) 現場で判断して、千葉～木更津一往復の列車で実施することとなった。

その②へ続く



千地申16号 「新型コロナウイルス感染拡大を防止し、安全で安心して業務ができる環境をつくり出す」
ための緊急申し入れに関する団体交渉を行う！ その②

～その①からの続き～

○ 使用している薬品について

- (組合) 薬品は何を使用しているのか？
- (会社) 主にアルコールである。アルコール消毒液の入手が困難な箇所では次亜塩素酸ナトリウムを使用している箇所もある。
- (組合) 過去に次亜塩素酸ナトリウムを使用したところ、吊革が破損したということがあったので、消毒には次亜塩素酸ナトリウムを使用しないことを求める現場もあったと聞いている。認識しているのか。
- (会社) 過去に、次亜塩素酸ナトリウムが原因と見られる、樹脂部品の破損があったことは聞いている。その時の背景は、高頻度の使用状況があったが、今回の消毒作業は頻度とすればかなり少ないことから、樹脂部品の破損には至らないと判断した。

○ 予備勤務の取り扱いについて

- (組合) 出勤予備の考え方やについて、変わらないことを確認したい。また、作業中にダイヤ乱れが発生した時、乗務することはあるのか？
- (会社) 出勤予備の考え方は変わりはない。予備は突発的な乗務に備えて待機してもらう。そのため要員を確保した上での消毒作業である。また、消毒作業中に輸送混乱が発生した場合にも、基本的に乗務をすることはない。
- (組合) 消毒作業する社員としない社員とで評価において差別しないこと。
- (会社) 消毒作業をしない、できない社員をマイナス評価にするような差別をしない。

○ 感染拡大防止のために何をするのか？

- (組合) 乗務員室の消毒についても行うべきという声が、職場から多く出ている。
- (会社) すでに一部の箇所で行っている。これは、乗務員から感染者が出た時の消毒のシミュレーションも兼ねて行っている。
- (組合) 組合としては消毒作業は感染するリスクが高まっているという認識がある。装備についても議論したが、本来であれば、手袋。マスクの他に、服装も終了後にすぐに洗濯できる作業服が望ましいと考えているが、現実そこまで用意できないことも認識している。会社としてそのようなリスクを負いながら作業させている認識はあるのか？
- (会社) もちろん、リスクを負った上での作業であることは認識している。しかし、何もしないということではなく、お客様に安心してもらうこと。少しでも車内での感染リスクを下げるためにできることとして消毒作業を行ってもらっている。リスクは理解している。感染しない・させないことの重要性は理解している。
- (組合) 取り組みについて我々も否定していないが、リスク管理をきちんとし、効果を明確にして欲しい。作業実態や意見を共有し、感染防止に繋げていきたい。
- (会社) 了解。

ウイルスへの感染拡大防止が重要！感染リスクの回避、安全な作業環境のために職場で議論を積み重ね、検証しよう！